

KOHLER 社製品

1. 設計・施工にあたっての注意点とお願い

価格について

- ・表示価格は 2015 年 1 月 1 日現在の価格になります。運賃、施工費は別途となります。
- ・著しい経済変動により、予告なしに価格の改定を行う場合があります。

仕様について

- ・モニターのの特性上、製品の色・仕上げは実際の商品と異なる場合があります。
- ・メーカーの事情により、予告なしに商品を廃番または仕様・寸法・色などの変更を行うことがありますので、予めご了承ください。

返品・交換について

- ・お客様のご注文通りに出荷された商品につきましては、返品は御受け出来ません。

品質保証について

・製品の保証期間はご購入時から 1 年間となります。保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。

- 1) 製品が正しく設置されていなかったり、不当な改造をされた場合
- 2) 自然災害による破損及び故障
- 3) 故意または不適切な使用による故障や、使用中に生じた傷や磨耗
- 4) 消耗品及び付属品の点検や交換
- 5) 配管内の異物に起因する破損や故障

安全に関する御注意

・器具選定の際には設置環境および用途をご確認下さい。誤った取り扱いや施工は事故や故障の原因となります。

配輸送上の注意点

・当社では厳重な梱包・検品を行っておりますが、万が一輸送上にて破損が発生した場合は、ご購入いただいたお客様から宅配業者へ直接ご連絡のうえ、「破損証明書」をお取り寄せいただき、商品到着後、3 日以内に当社までご連絡ください。当社と宅配業者

間で調査を行い、早急に代替品の手配をいたします。破損証明書がない場合、または商品到着後3日を過ぎた場合には、お客様側での破損扱いとなります

・交通障害、自然障害、受取人不在等の要因による延着が発生した場合の責任は負いかねますのでご了承ください。

日本水道協会認証（JWWA）について

・水栓金具等の給水装置は日本水道協会の認証品（JWWA）や JIS 該当品の使用が義務付けられていましたが、1997年10月の水道法改正によりメーカー自らによる自己認証や、国内外の認証機関による第三者認証を受けたものであれば使用できるようになりました。その結果を踏まえまして、コーラー社の混合水栓金具は日本水道協会認証（JWWA）は受けておりませんが、IAPMO（USA 認証機関）の認証を受けておりますので安心してご使用いただけます。また、NSFの検査（飲料に適しているかどうか等の検査）にも合格しています。

2. 商品取扱いに関する注意点とお手入れ方法

洗面ボウルについて

- ・壁に直接設置する場合、下地をご用意ください。
- ・カウンターへの穴あけ寸法は商品によって異なります。納品時に同梱される「カットアウトプレート」を基準としてお使いいただき、詳細の取扱いについては現物の確認を行って下さい。

鋳物ホーロー製・陶器製洗面ボウル

- ・お手入れの際には、薄めた中性洗剤とやわらかいスポンジ等をご使用下さい。クレンザー・磨き粉などの研磨を目的とした洗剤や用具のご使用はおやめ下さい。
- ・硬いものが落下すると傷がつき、破損する恐れがあります。

天然石製洗面ボウル

- ・天然石のため、ご使用期間により風合いがでてきます。また、色目や石目が商品ごとに異なる場合がありますので、予めご了承ください。

ガラス製洗面ボウル

- ・ガラス製品は急激な温度変化（ヒートショック）で破損する恐れがあります。お湯のご使用の際には十分ご注意ください。
- ・ガラス製品の為、高い安全性が求められる用途でのご使用には特に御注意下さい。

水栓金具について

- ・ 給湯温度の上限は 60°Cとして下さい。
- ・ 水栓金具の使用水圧は 0.18Mpa ~ 0.75Mpa です。水量調節およびメンテナンスの為に、止水栓の設置と点検口の設置をお奨めします。
- 寒冷地対応品はご用意しておりません。
- ・ 水栓に使用できる水質は、上水および飲用可能な井戸水です。温泉水や鉱泉水は、器具の破損や故障の原因になる恐れがあるため適していません。
- ・ めっき製品のお手入れには、薄めた中性洗剤とやわらかいスポンジ等をご使用下さい。クレンザー・磨き粉などの研磨を目的とした洗剤や用具のご使用はおやめ下さい。
- ・ 泡沫水栓を使用していますが、ボウルとの組合せによっては、水はねが生じることがあります。
- ・ 給水・給湯圧力はほぼ同圧にして下さい。
- ・ 壁埋込型水栓金具を設置される場合には、壁仕上げ前にバルブの施工をする必要があります。
- ・ 使用時に過度な力をかけないよう御注意下さい。
- ・ ヘッド引出しタイプの商品は、ホースより水垂れする恐れがあります。

大便器について

- ・ 寒冷地対応品はご用意しておりません。
- ・ 配管の立ち上げは VP 管φ75 もしくはφ100 で行って下さい。